

*原則として過去1年間に刊行された文庫・新書

*「◎」9月案に追加、『黒い皮膚、白い仮面』削除

【戦後80年を超えて】

- 1月 塩出浩之『琉球処分』（中公新書、2025年6月）
- 2月 内務省研究会編『内務省—近代日本に君臨した巨大官庁』（講談社現代新書、2025年4月）
- 3月 波多野澄雄『日本終戦史 1944—1945—和平工作から昭和天皇の「聖断」まで』（中公新書、2025年7月）
- 4月 ◎荻野富士夫『検証 治安維持法—なぜ「法の暴力」が蔓延したのか』（平凡社新書、2024年12月）
- 5月 将基面貴巳『反逆罪—近代国家成立の裏面史』（岩波新書、2024年11月）治安維持法100年

【哲学・思想・歴史】

- 6月 川瀬和也『ヘーゲル（再）入門』（集英社新書、2024年12月） 「流動の哲学」として読む
- 7月 伊藤邦武、山内志朗ほか編集『世界哲学史 別巻』（ちくま新書、2020年12月）
- 8月 ◎佐々木太郎『コミンテルン—国際共産主義運動とは何だったのか』（中公新書、2025年2月）
- 9月 鶴見太郎『ユダヤ人の歴史 古代の興亡から離散、ホロコースト、シオニズムまで』
(中公新書、2025年1月)
- 10月 ◎巻島隆『飛脚は何を運んだか—江戸街道輸送網』（ちくま新書、2025年2月）

【社会】

- 11月 「アマチュア」が切り拓く学問世界
志村信幸『在野と独学の近代—ダーウィン、マルクスから南方熊楠、牧野富太郎まで』
(中公新書、2024年9月)
白石正明『ケアと編集』（岩波新書、2025年4月）
- 12月 言葉（ソフトウェア）と建築（ハードウェア）の現在
椎名美智『「させていただく」の使い方—日本語と敬語のゆくえ』（角川新書 2022年1月）
森山高至『ファスト化する日本建築』（扶桑社新書、2025年4月）